

あつし塾長の

子のやる気の親の気づき

〇〇12



毎年4月、子どもたちは大きな期待と少しの不安の中、新しい学年に進みます。入学式を3日後に控えた土曜日、私の担当しているラジオ番組の教育相談コーナーに2通の質問メールが届きました。1通は新中2の女子からで「もうすぐ2年に

興味

なります。クラス替えがあつて、なかなかクラスになじめないとき、新しい友達にどう接したらいいと思いませんか」という質問。もう一通は新中1の女子からで「中学に入ったら友達と話をするにはどうしたらいいですか。また、友達は何人まで作っていいんですか」という内容でした。新しい友達とどう接したらいいのか、どんな話題で話し掛けたら

教わるより見つけよう



by yoriko

小さな失敗の経験が大切

良いのか、新しい環境を前にした率直な気持ちだと思えます。ただ、友達何人—というのは中学1年生ではなく小学1年生の悩みではないかと私は思っています。ゆとり教育世代の子どもたちは、人と人とのかわりに関して、ズバリ経験不足だと思っています。自分の出し方を悩む前に、「ま

が大切です、小さな失敗をたくさん、たくさん経験させたいものです。例えば、二足のわらじを履いてみたり、出た杭(くい)になり、打たれたり…。当たり障りのない発言や知ったかぶりや過ごさず、当たって砕ける、まさに骨身に染みる経験も大きく成長するに

くことであり、行動を起こすとはその本を読むことです。仮に失敗しても何度も繰り返せる小さな失敗です。だから、新しい友達との接し方も教わるものではなく、自分で見つけようとするべきです。自分で見つけ興味を持ち行動を起こすことが、学び取るものは入り、それぞれ違ふはずで、幼いころより、教わるより見つける経験を積み重ねたいものです。

学校は週休2日制となり1年の約45%が休みです。便利すぎる生活は、子どもが家や部屋の中で過ごす時間を増やしています。中学生は、ちょうど子どもの最後と大人の始まりのシレンマの中で、もがき、悩み、それを乗り越えて成長する時期です。何事も面倒だから先送りでは、世の中に直面できない未経験な子どもが社会に巣立つことになります。

ブラジル人学校馬場大泉町卒業した日熊谷マイラ 東学園大(入学した。学は楽しそ ばいつくり パスライフ ている。 南米出身 多く住む市 国人集住都 の太田市に 高校を卒業 日系ブラジ いるが、ブラ の大学入学 う。 7歳でブ した熊谷さ

ブニ



天

関東学園 見せる日 さん14

教育

ニュース なぜなに

入ります。この基準は「学習指導要領」と呼ばれ、時代に合わせて改められてきました。 1990年代には、激しい受験競争や、考えることの覚えの良さを重視するようになり、それまでの教育への反省が高まり

